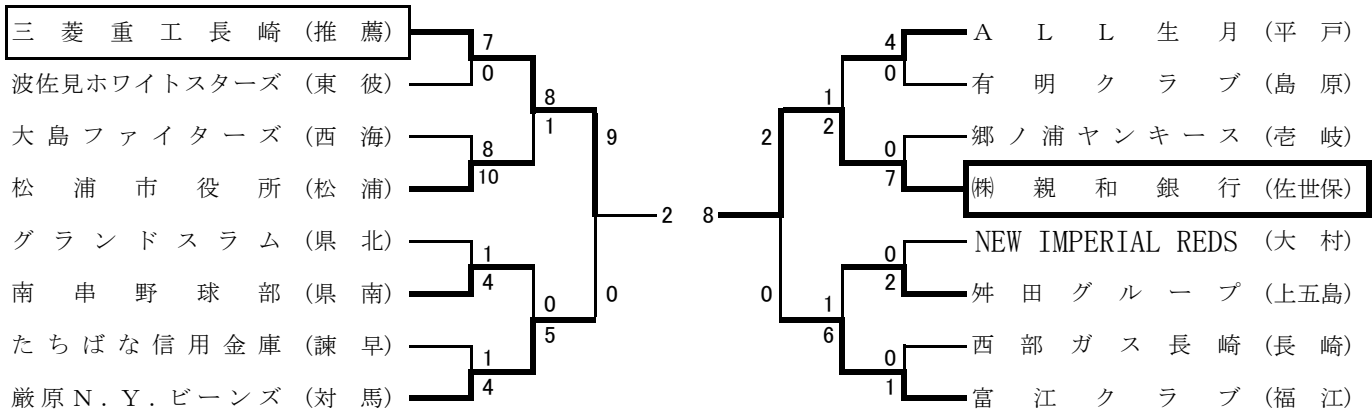


Vを奪回した親和銀行は2年ぶり18回目の栄冠

第56回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成18年10月28日(土)～30日(月)

会場：県営ビッグNスタジアム、かきどまり野球場



市町村合併により、今回は県北地区から出場していた「生月体協」が『A.L.L.生月』として平戸地区から。また南高地区から19回の出場してきた「有明クラブ」は、

島原地区代表として20回目の出場。前年の西彼→西海の支部名変更が続いて、この年から南高支部が『県南』に変更となった。

【一回戦】ビッグN：第1試合(1時間29分)

三菱重工長崎	210 013	7
波佐見ホワイトスターズ	000 000	0

(6回コールド)

波佐見の県選手権初出場は第49回(H.11)大会で開会式直後の無死満塁制の延長8回に千々石野球部にサヨナラ惜敗(0-1x)。2年連続出場した第50回大会では親和銀行に1-2と健闘惜敗。6年ぶり3回目の選手権。

【三菱重工長崎】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	布村 正樹	43	12	鈴木 亮一	29
10	中村 勉	29	14	山本 稔紘	19
0	宮本 純	29	16	守田 和博	26
1	管 賢一	25	17	永田 勝巖	26
2	若松 大樹	24	19	伊佐 真琴	29
4	香田 正宣	31	21	江添 伸治	32
4	平野 靖	24	23	嵩下 絢也	26
5	石川 章孝	27	25	佐々木 聡	19
6	久米 聡史	28	26	上田 学	26
11	赤瀬 隆一	22	27	榎本 大輔	35

【波佐見ホワイトスターズ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	土屋 和広	41	16	山下 博史	35
10	中澤 佳彦	40	17	松尾 祐介	26
2	広田 和樹	38	18	辻 勝也	37
3	福田 隆	28	20	守田 健一	27
4	川口 崇	29	22	松尾 和也	23
5	山口 龍彦	29	23	田中 義和	26
6	田崎 由尚	29	24	吉田 伸哉	38
7	松田 雄二	27	27	中村 浩一	37
11	福田 健太	25	29	飯盛 太陽	27
13	山田圭一郎	32	25	樋渡 常司	26

【一回戦】ビッグN：第2試合(2時間2分)

大島ファイターズ	200 101 022	8
松浦市役所	000 040 024x	10

(延長8、9回は無死満塁制)

大島は3年前の第53回大会が選手権初出場。生月体協の0-0無死満塁制の延長8回にサヨナラ勝ちでデビュー戦を飾り次の三菱重工に0-2で苦杯。前年の第55回大会でも1勝したが、三回目の今回はサヨナラ敗戦。

【大島ファイターズ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	松本 将信	30	9	橋田 隆之	32
10	松本 喜一	28	12	山口 直孝	19
0	岩本 等	25	14	田中謙一郎	29
1	横田 策奏	21	17	杉本 謙二	24
2	西田 昌司	30	18	廣田 盛志	21
3	大串 祥則	43	21	前田 剛	35
5	本多雄一郎	37	22	浦口 光浩	37
6	中越 良一	27	23	永野 修平	30
7	矢野 和也	28	25	百岳 祐介	24
8	出口 健治	26	11	高山 竜伸	24

【松浦市役所】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	廣川 聖貴	36	16	平田佑三郎	24
10	柴山 政博	33	17	田崎 洋介	30
1	中野 正和	35	19	池淵 崇	31
2	佐竹 義治	36	20	石井 大輔	25
3	中山 一義	31	21	井戸 紳介	34
5	加椎 大輔	30	23	金子 圭史	26
7	松田富士夫	34	25	近藤 秀和	37
9	川崎 祐一	26	27	山崎 剛	30
11	荒木 勝之	35	28	梶川 誠基	31
15	金福英一郎	24	29	青木亮太郎	32

【一回戦】ビッグN：第3試合(1時間30分)

グランドスラム	000 10	1
南串野球部	003 01	4

(5回時間切れ)

県北支部からの常連(S61年からH16年までの19年間に8回出場)組だった生月体協がこの大会から平戸支部代表で出場。前年出場(7回目)の鹿町バンビーズを抑えてグランドスラムが選手権に初出場したが...

【グランドスラム】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	山田潤一郎	37	9	前田 信幸	38
10	井手 友彦	21	11	前田 淳弥	19
0	宮本 正義	20	16	平畑 昌彰	20
1	萩尾真一郎	22	18	里山 達也	20
2	松本浩太郎	20	20	川端健太郎	20
4	別府 卓哉	20	21	井上 翔平	20
5	春本 修	20	24	永田 孝輔	20
6	瀬川 智也	17	26	平野 雄太	17
7	島井 勇太	20	27	山口 準平	22
8	納富 伸弘	20			

【南串野球部】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	寺田 武弘	40	13	末吉孝一郎	21
10	富永 英志	23	14	岡本 匡輝	22
1	浅野 恭平	19	15	井上 清秋	22
3	酒井 真二	33	16	中村 勝	40
5	山崎 学	39	17	川内 俊祐	21
7	酒井 亮介	18	18	豊島 啓司	39
8	茂 幸生	17	19	里中 秀喜	19
9	富永 幸一	33	20	岡本 大樹	21
11	増田 順也	40	22	岸上 祐大	22
12	井上 辰也	40	25	竹下 晃	22

【一回戦】ビッグN：第4試合(1時間42分)

厳原 N. Y. ビーンズ	000 400 0	4
たちばな信用金庫	000 100 0	1

北高地区が諫早地区と合併吸収されて2年目。昨年に諫早代表として2度目の出場したたちばな信金は選手権初勝利を挙げると、勢いで2勝してのベスト4になったが今大会は3年ぶり2回目出場の厳原NYビーンズに対して初戦で消えた。

【厳原NYビーンズ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	高松 宏貴	34	13	内山 直樹	29
10	田中 宏	28	14	鹿毛 芳嗣	27
0	村井 勇貴	20	18	阿比留喜嗣	30
1	西山 静	25	21	稲葉 克明	27
2	阿比留祐一	27	24	作元 功照	27
4	栗山 修一	27	27	村上 静男	27
5	竹本 純二	34	28	小田 剣生	27
6	修行 武	26			
7	石山 亮	23			
11	平山 裕二	25			

【たちばな信用金庫】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	上野 和成	43	12	山口 智男	40
10	山下 圭	29	14	入江 亘	26
1	松川 亮平	28	15	道副 佑紀	23
2	安田 智明	34	23	森 弘司	24
3	中原 昇平	23			
4	村川 雄一	27			
5	伊藤 伸二	42			
7	土井 大輔	31			
9	福井 慎一	28			
11	高森 康仁	26			

【一回戦】かきどまり：第1試合(1時間30分)

有明クラブ	000 000	0
A L L 生月	010 120	4

(6回時間切れ)

有明クラブが島原南高地区代表として県選手権に初出場したのは準硬式球使用時の36年第11回大会。そして平成8年第46回大会以来選手権に縁が無かったが10年ぶりの出場も、平戸代表の生月に零封された。

【有明クラブ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	久次米 理	38	25	酒井 誉親	30
10	酒井 秀一	30	5	平山 修	29
6	森 博之	35	0	森崎 誠一	29
8	宮崎 正	34	20	橋本 優介	26
15	宮崎 信也	33	19	松本 敏朗	25
7	村子 晃康	33	16	平田 真吾	25
21	平山 和樹	32	17	大潮 巴	24
3	宮本 和昭	31	11	中山 翔	22
23	平田 和徳	31	12	柴田 誠	22
9	橋本 和彰	30	22	松本 青児	20

【ALL生月】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	丸山 裕樹	36	14	池田 真敏	26
10	森田 大吉	32	17	前田 康太	26
0	坂口 尚睦	36	18	石屋 広三	30
2	丸山 和希	24	19	大川 哲史	31
3	大浦 虎幸	30	20	久家 勇樹	22
5	田中 康一	29	21	伊藤 見智	30
6	田中 球悟	23	22	藤永 雅之	34
7	塚本 康正	30	24	塩屋 孝人	35
8	大崎 慎介	29	26	堀山 裕二	24
9	石山 公建	28	27	前田 啓太	23

【一回戦】かきどまり：第2試合(1時間22分)

(株)親和銀行	220 21	7
郷ノ浦ヤンキース	000 00	0

(5回コールド)

壱岐地区から6年ぶり3回目出場の郷ノ浦ヤンキースだったが、強豪・親和銀行の前に得点を挙げる事ができず、5回コールドで敗退し、未だに選手権では未勝利。

【親和銀行】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	中田 直彦	35	17	向田 隆	23
10	原田 和寛	30	13	桑原 隆史	23
5	森山 恵朗	32	1	永里 悠	22
24	中村 慎吾	30	3	野村健太郎	22
22	沖田喜三郎	30	28	吉田 光太	22
2	平野 晃一	30	9	古賀 太一	22
20	下川 大輔	27			
29	山田 幸一	26			
6	木崎 達也	26			
18	林田 大輔	25			

【郷ノ浦ヤンキース】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	寺田 茂樹	38	7	山内 雄三	29
10	久間 省吾	28	25	松永 晃生	21
27	土谷 耕三	39	1	内山 拓	26
6	竹原 正法	40	14	姫野 浩三	34
26	浦上 啓吾	34	23	竹下 雄剛	22
8	横山 太三	33	11	田嶋 伸敏	30
5	村田 孝文	29	28	長岡美知孝	29
0	日高 鉄兵	28	18	長岡 哲史	25
2	小嶋 寛二	28	19	田中 稔	19
17	江崎慶太郎	27	24	白川 琢也	26

【一回戦】かきどまり：第3試合(1時間26分)

NEW IMPERIAL REDS	000 000 0	0
舛田グループ	000 002 X	2

2年ぶり2回目出場した大村地区代表のニュー・インペリアル・レッズは、今大会でも初勝利が挙げられなかった。

【NEW IMPERIAL REDS】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	南原 寛人	34	8	長谷 泰樹	28
10	上原 亨	33	11	藤本 利治	31
23	戸嶋 謙二	33	15	中野 章治	20
25	田中 祐典	26	16	浦野 隆策	26
1	大平 力	26	17	古賀 逸郎	20
2	深江 一生	21	18	長野 剛	26
3	竹次 慶輝	21	22	阿部 正人	35
4	川波 寿雄	37	26	山口 晃司	21
6	上野 浩司	21	24	森 聖也	18
7	田中 卓磨	24	21	奥田 忠昭	37

【舛田グループ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	浜崎 秀明	38	12	井内 恭広	34
10	立石 宏樹	36	11	西村 恭広	36
26	宗 健太郎	20	8	和田 武也	34
24	石田 義徳	25	7	江口 旭	26
23	平田 勇夫	27	6	蔭山 淳	26
22	三宅 亮一	31	5	山田 明人	32
21	湯川 紀之	22	27	舛田 祐二	19
18	蔭山 喜孝	31	4	原 信也	24
17	立石 拓也	38	3	岡本 大介	23
16	木下 博輝	24	2	大水 翔	22

【一回戦】かきどまり：第4試合(1時間30分)

富江クラブ	000 100 0	1
西部ガス長崎	000 000 0	0

西部ガス長崎は第2回(S. 27年)に長崎地区代表で出場した老舗球団。二度目の出場が38年後の第40回(H2年)で今回は6年ぶり5回目の出場だったが、富江クラブの有川投手に完封敗戦を喫した。

【富江クラブ】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	川口 佳久	41	13	松倉 龍也	30
10	樽角 進也	31	15	山戸 貴光	20
0	福山 良太	30	18	松崎 重樹	31
2	舛本 貴史	28	21	有川 恭平	20
3	馬場 直也	36	23	松本 貴志	31
4	岩田 克彦	21	24	眞鳥 秀雄	31
7	片町 健太	25	25	芳野 拓	22
8	田原 亮	23	27	三尾 重則	36
9	小西 康太	28			
11	山口 綾太	20			

【西部ガス長崎】

背	氏名	年齢	背	氏名	年齢
30	森永 秀樹	52	12	里 健太	34
10	後藤 洋樹	30	13	岩崎 龍則	41
0	畠中 豊和	31	15	松崎 雄二	37
1	大坊 良太	24	17	山中 正太	18
2	峰 孝樹	33	21	茂見 竜太	18
3	山中 光太	21	22	橋口 才蔵	22
5	松本 実	31	23	森 一郎	41
6	小川 常義	32	24	宮崎 光浩	37
7	品川 功輔	23	26	末永 康一	22
8	末永 淳也	19	28	川井 章太	23

大会第2日は準々決勝と準決勝の計6試合があった。準決勝戦では前年度優勝の三菱重工長崎が巖原N.Y.ビーンズを9-0の5回コールドで、親和銀行は富江クラブ

を2-0と、共に無失点で快勝して決勝戦に進出。これで両チームの決勝戦対決は12回目となった。

【準々決勝】かきどまり 1時間25分(5回コールド)

三菱重工長崎	301 04	8	8年連続32回目
松浦市役所	000 01	1	4年ぶり10回目

(三)永田-鈴木 (松)近藤-山崎

【準々決勝】かきどまり 1時間49分

巖原N.Y.ビーンズ	000 300 2	5	3年ぶり2回目
南串野球部	000 000 0	0	5年ぶり6回目

(巖)田中-西山 (南)中村、浅野-末吉
【三】村上(巖) 【二】末吉(南)

【準々決勝】ビッグN 2時間10分

株親和銀行	000 011 0	2	10年連続34回目
A.L.L生月	010 000 0	1	2年ぶり9回目

(親)山田、沖田-吉田 (A)田中康、森田-久家
【二】塚本(A)

【準々決勝】ビッグN 1時間49分

富江クラブ	200 001 3	6	3年ぶり13回目
舛田グループ	000 100 0	1	2年ぶり6回目

(富)有川-松崎 (舛)湯川-立石宏
【二】有川、松崎(富)、木下(舛)

【準決勝】かきどまり 1時間36分(5回コールド)

三菱重工長崎	201 60	9
巖原N.Y.ビーンズ	000 00	0

(三)石川、伊佐-鈴木、若松 (巖)田中-西山
【二】中村(三)

離島の対馬勢がベスト4進出したのはこれが5度目。巖原N.Y.ビーンズは3年ぶり2回目の選手権で初勝利を挙げ2勝を積み重ねたが、第1回大会の全巖原や、第32回(S. 57年)と33回大会に2年連続の豊玉クラブに、昭和62年(第37回)の海王同様、決勝戦進出はならなかった。



準決勝の巖原N.Y.ビーンズ戦で先発した三菱重工長崎の石川章孝投手

【準決勝】ビッグN 1時間25分

富江クラブ	000 000 0	0
株親和銀行	000 200 X	2

(富)有川、片町-松崎 (親)山田-吉田
【三】木崎(親)

離島の福江支部所属の富江クラブは3年ぶり13回目の県選手権で、今回が4回目の準決勝。9回目出場時の平成8年は三菱重工に、2年ぶりの大会では親和銀行に、そして3年ぶりの平成13年には三菱重工に、それぞれ0-1、0-8、0-5と封じられて敗退。4度目の準決勝でも得点を挙げられなかった。通算で12勝13敗。初戦敗退は5大会。

平成18年に開催されたその他の競技会の戦績① (一般のみ)

第61回国体一般B選考会 4/15~:長崎

年度当初の県連総会で承認された前年度までの県大会での実績による6チーム参加の選考会を行なった。

三菱重工長崎(長崎)	3
ソニーセミコンダクタ九州(諫早)	2
九州電力長崎支店(長崎)	1
NEW IMPERIAL REDS(大村)	3
西部ガス長崎(長崎)	1
愛健会アイケン医院(佐世保)	0

代表	2チームによる3戦2勝方式
決定戦	ソニー 8-0 N・I・R
	ソニー 5-2 N・I・R

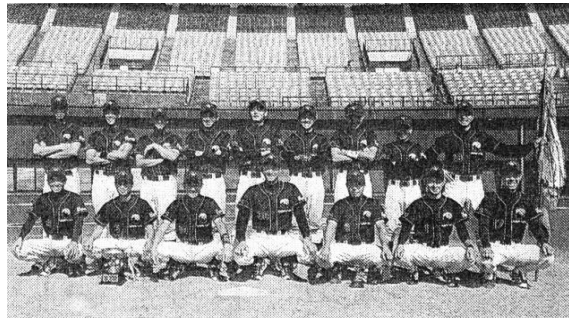
国体一般Aは親和銀行推薦

九州ミニ国体	(A)親和銀行
8/19~:熊本県	(B)ソニー九州
3部門とも敗退	(成)ヨシスポーツ

第61回国体成年県予選 4/16~:諫早

コーカスクラブ(長崎)	0
福江クラブ(福江)	1
松浦壮年クラブ(松浦)	業
波佐見フェニックス(東彼)	6
佐世保西海クラブ(佐世保)	4
上五島迷球会(上五島)	9
上対馬北斗クラブ(対馬)	0
大村市役所(大村)	2
リッキーズ(島原)	1
ヨシスポーツクラブ(諫早)	10

親和銀行2年ぶりV



2年ぶり18回目優勝の親和銀行ナイン

三菱重工長崎及ばず

【決勝】ビッグN	振球犠盗失併残										
(株)親和銀行	000	033	101	8	5	8	1	6	1	0	6
三菱重工長崎	000	001	001	2	3	3	2	0	0	0	5

【本】下川 【三】沖田、木崎、香田 【二】永里、香田

【評】試合が動いたのは五回。親和銀行は連投の疲れが見えるエース山田に代えて代打・沖田の右中間三塁打をきっかけの一死二三塁から、木崎の左中間三塁打や、初球エンドランなどで3点を先制。六回にも一死満塁から沖田の左前適時打で二者を還し、木崎も適時打してこの回に3点を追加しリードを広げた。終盤の七回と九回にも投手の暴投や下川の左越え本塁打などで加点して突き放した。守っても山田-沖田の継投で強打の三菱重工長崎を3安打2失点に押え込んだ。

三菱重工長崎は投手陣が被安打8、与四死球8と崩れる誤算。打線も早打ちが目立ったほか、良い当たりが野手の正面を突くなどしてつながらなかった。

これで両チームの決勝戦対決は親和銀行の8勝4敗となり、親和銀行は18度目の優勝を飾った。

(平成18年10月31日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)



6回表親銀一死満塁、沖田の左前適時打で三走下川に続き二走の野村が生還し5点目

【親和】打安点

⑥5	木崎	4	2	3
④	原田	4	0	1
⑦	中村	2	0	0
H6	森山	1	0	0
③	下川	3	1	1
⑤7	野村	5	2	0
⑨	永里	3	1	0
②	吉田	3	0	0
①	山田	1	0	0
H1	沖田	3	2	2
⑧	桑原	3	0	0
		32	8	7

【重工】打安点

⑧	菅	4	0	0
⑥	中村	3	0	0
③	香田	3	2	1
④14	石川	4	0	0
⑨	江添	4	0	0
⑦1	伊佐	1	0	0
1	永田	1	0	0
H	梶本	1	1	1
⑤	平野	3	0	0
②	鈴木	2	0	0
①	赤瀬	1	0	0
H	守田	1	0	0
4	久米	0	0	0
7	嵩下	1	0	0
		29	3	2

投手 回 打安振球責

山田	4	14	0	1	1	0
沖田	5	20	3	2	2	2
赤瀬	5	21	3	2	4	3
石川	1	8	3	1	2	3
伊佐	0/3	2	0	0	2	0
永田	3	10	2	2	0	2

森山が“有終の美、

〇…「どうしても負けれない大会だった」。2年ぶりのV奪回に親和銀行の中田直彦監督は喜びをかみしめながらこう語った。

負けれない理由は二つあった。一つは「今大会限りで現役を退く森山恵朗遊撃手の花道を飾りたい」。もう一つは「不良債権処理で業績の低迷が続く会社に元気を与えたい」。

森山は親和銀行が平成7年の福島国体で準優勝した時のメンバーで「14年間チームの大黒柱として引っ張ってくれた」と中田監督。今大会

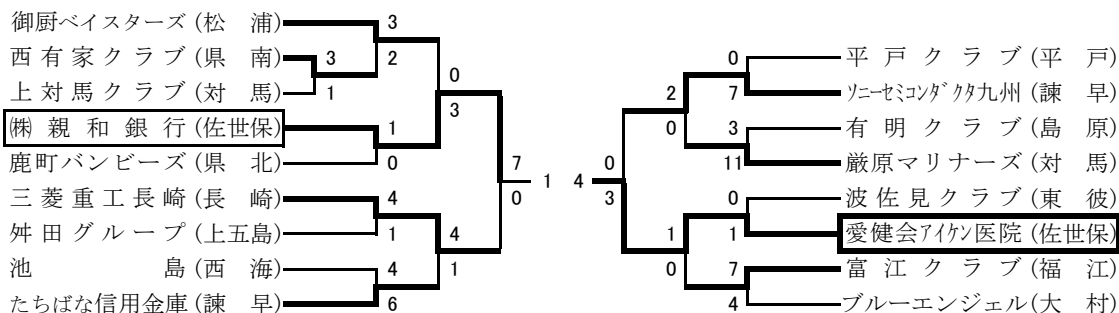
は故障者が続出する中、「森山のためにも優勝を」と、控え選手らが不慣れなポジションをこなしてチーム一丸で勝ち取った栄冠だった。

30日は森山の33歳の誕生日。大会前に右足をねんざし万全ではなかったが、九回には代打で出場し守りにもついた。ナインの後押しで“有終の美”を飾ったベテランは「国体には平成14年の高知国体以来出場していない。この優勝をきっかけに、国体でこれまで以上の成績を挙げてほしい」とチームにエールを送っていた。

最高殊勲選手に木崎

最高殊勲選手賞は先制の2点三塁打など3打点を挙げた木崎達也(親銀)選ばれ、優秀投手賞は沖田喜三郎(親銀)、優秀選手賞は山田幸一(親銀)、敢闘賞は中村勉(重工)がそれぞれ受賞した。

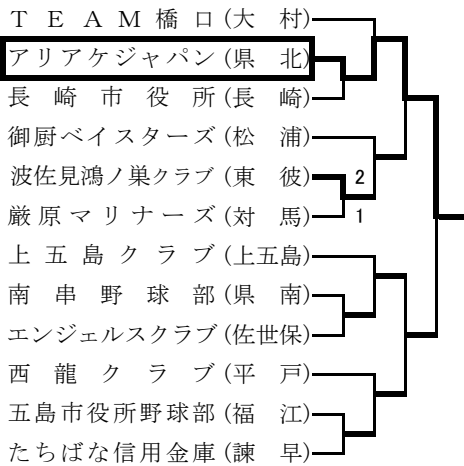
天皇賜杯第61回県予選 6/17~:佐世保



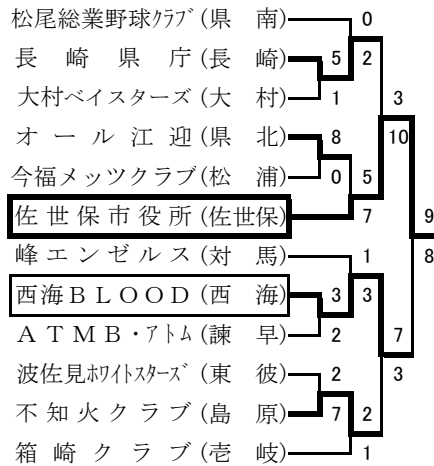
天皇賜杯第61回全日本 9/15~:滋賀県 【一】 0-1 大阪市信用金庫=優勝

平成18年に開催されたその他の競技会の戦績② (一般のみ)

第28回西日本1部県予選 4/1～:島原



第28回西日本2部県予選 4/8～:西海



第29回九州選手権予選 佐世保

愛健会アイケン医院とソニーセコンダ*九州が、熊本県での大会に出場。

第10回西日本選手権予選 9/9～:平戸

愛健会アイケン医院が優勝

第28回西日本大会1部 5/5～:宮崎

【一】 5-6 JapanBaseballClubWharp(兵庫)

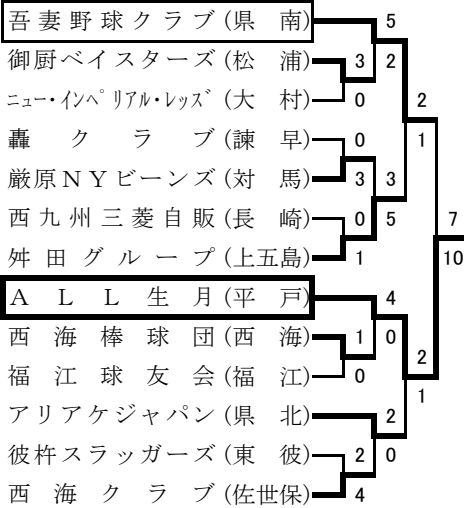
第28回西日本大会2部 5/19～:奈良県

【一】 7-12 愛好会(山口)

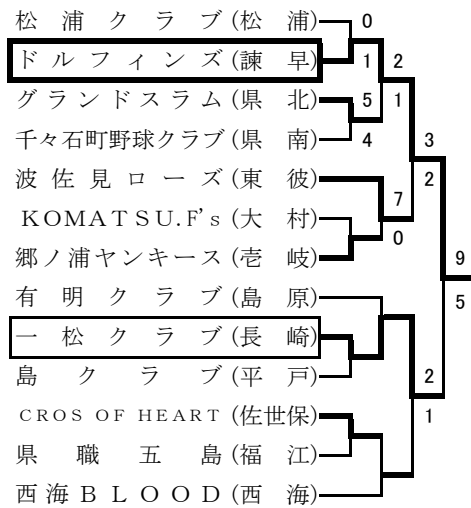
第10回西日本選手権 11/3～:広島県

【一】 6-1 宇東クラブ(愛媛)
【二】 0-1 セントラル硝子宇宙工場(山口)

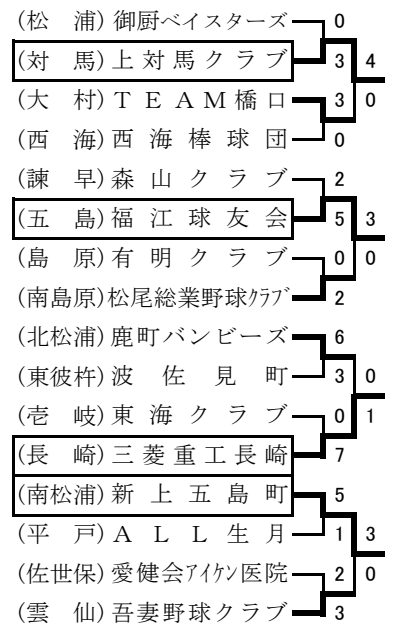
高松宮賜杯第50回1部 6/3～:平戸



高松宮賜杯第50回2部 5/27～:波佐見



第58回県民体育大会 11/12:諫早



九州ブロック(佐賀)を突破して全国へ

九州ブロックが長崎のため全国大会へ

高松宮賜杯全日本1部 9/8～:島根県

ALL生月
【一】 3-2 ノメリコンズ(滋賀)
【二】 1-2 四国明治乳業クラブ(香川)

高松宮賜杯全日本2部 10・20～:神奈川県

ドルフィンズ
【一】 3-8 キングドルフィン(山形)

第1日が雨天で二回戦で打ち切り

第14回県成年大会 10/21～:五島

